

## 「3-4 歴史文化資源の保全・活用」に関する委員意見・市の取組状況等

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
歴史資料の保護・継承には市民に見えないところでの相当な努力があると思われる。その努力を無駄にしてはいけない。	・具体的な取組を進める中で参考にさせていただきます。	（審議会にてご意見をお願いします。）
大岩山古墳群は何基あるのか。荒廃防止のためオーナー制度を取り入れてはどうか。	・大岩山古墳は8基です。 ・市民やボランティアによる支援という形で検討します。	
伝統文化継承を担う団体の高齢化については、大学生ボランティアなどの積極的な活用をすれば良い。	・取組方針①に取り組む中で、活動保護団体と人材育成への支援を検討します。	
銅鐸博物館の企画展入場者数がかなり少ないように感じる。有名な史料の借用等しなくても展示の魅せ方次第では充分魅力的な企画展ができると思う。魅力ある企画ができるプランナーやデザイナー等民間との協業を推進すべき。	・取組方針②に取り組む中で、学校や地域を結び、情報発信を担うコーディネーターの導入を検討します。	
博物館を活用し、障害者が銅鐸を書いた絵と共に展示する“福祉と歴史の融合展”など、他分野とのコラボ企画をしてはどうか。	・取組方針②に取り組む中で、老朽化した設備改修を図りながら有効策を検討します。	
弥生の森の体験学習はメニューが豊富でいつでもできる点が魅力的である。勾玉だけでなく、土器や陶板づくりもアピールできれば集客につながるのではないか。	・取組方針②に取り組む中で、体験メニューを工夫し、魅力ある体験学習と集客に努めます。	
学校教育で地域の歴史や文化を体験学習し、子ども達に市内の魅力を伝承する。また、博物館を活かして、シーズン毎の郷土の歴史文化を発信させ、リピーターを増強すると良い。	・取組方針③に観光・教育・まちづくり分野等との連携について記載しました。	
市内の歴史的遺産について基本的な施策はできていると思われるが、今後は観光施策と連携し、既存の枠組にとらわれず新しい発想で検討すべきである。		

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
<p>永原御殿跡を公有化・復元して当時の食事を伝統料理とし、観光の目玉にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組方針③の主な取組である「永原御殿跡の保存・活用・整備」に具体的に取り組む中で検討します。</li> </ul>	<p>(審議会にてご意見をお願いします。)</p>
<p>市史編纂も重要ではあるが、文字ばかりでなく、小学生でもわかるようなイラストや写真、漫画などを使った野洲市の歴史教科書を作ってはどうか。それぞれの史実が繋がって見えるストーリーがあればわかりやすいし読みたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで作成された社会科副読本やガイドブック改訂の際に検討します。</li> </ul>	
<p>アンケートを見ると、文化財、歴史遺産、伝統文化の市民の関心は低いのではないかと。野洲遺産としてこれらを認定し、PRしてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市として存すべき歴史遺産は文化財に指定し保存しています。</li> <li>・ 未指定文化財を含めた文化財保存活用地域計画を策定し、野洲市の歴史文化遺産のPRに努めます。</li> </ul>	